

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

赤西国有林《企業の森》において『株式会社日本触媒』が新入社員研修を実施



株式会社日本触媒の新入社員 63 名を前に挨拶をする中島署長

【兵庫森林管理署】兵庫県宍粟市にある赤西国有林の「企業の森」において、契約締結相手方の株式会社日本触媒の新規採用研修・森林実習が行われ、23 年度の新入社員 63 名が参加しました。

はじめに、中島署長から「森林整備の体験を通じて、森林の大切さや源流域の森林と企業との繋がり・関わり方を実感し、今後の業務に生かしていただきたい。」との挨拶の後、日本触媒の森の活動概要の説明があり、研修生が 9 グループに分かれて間伐作業体験等を行いました。

間伐作業では、「NPO ひょうご森の倶楽部」の会員の指導のもと、初めて山の中での間伐作業を行う研修生は、のこぎりの使い方や木の倒れる方向に苦労する中、各グループで力をあわせて安全に間伐作業を行いました。

昼食の後は、あいにくの雨天の中にも関わらず林道沿いを歩きながらスギの巨木などの自然観察をしました。

続いて、各グループに分かれてワークショップを行い、「今回の森林実習で学んだこと・気づいたこと」「日本触媒が社会貢献活動を行う意味」「今回の森林実習から明日からの行動に生かすこと」という 3 つのテーマを議論し発表が行われました。

最後に研修生から国有林を含めて森林・林業関係に対する質疑応答があり、活発な議論が行われ研修を終了しました。



のこぎりを使い初めて間伐体験をする（株）日本触媒の新入社員



室内でのワークショップ（各グループごとにテーマを発表）



2011
国際森林年

平成23年度「山地災害防止 キャンペーン」実施中

【森林整備部 治山課】 林野庁では、平成8年度から毎年5月20～6月30日までの期間で「山地災害防止キャンペーン」を全国的に展開し、都道府県及び市町村と一体となって、山地災害危険地区の周知やパトロール、地域の皆さんの防災意識の高揚を図り山地災害に備えるための広報活動、防災訓練などを行っています。

期間：平成23年5月20日～6月30日

安全・安心を図る治山事業

山地災害からみなさんの安全で安心な暮らしを守る一つの有効な方法は、防災施設の設置や森林整備などにより危険なところをなくしたり、危険性を少なくしたりして、災害の原因となる山くずれ、地すべり、土石流等が起こらない、あるいは起こりにくくすることです。これが現在、国や都道府県の事業として行われている治山事業です。

人ごとと 思わず活かそう よその災害

防災施設の設置



京都・嵐山国有林に設置された落石防止施設です。散策を楽しむ皆さんの安全を図っています。

①土砂崩落発生直後



②治山事業によって早期の植生回復



広島・猿ヶ城山国有林では、突然の土砂崩れとともに、大転石が発生しました。麓の人家に危険が及びましたが、早期の治山事業により、安全が確保され、荒れ果てた山肌も、現在は森林に回復しつつあります。

地域ニュース

第62回全国植樹祭の開催（和歌山県）

【近畿中国森林管理局】 5月22日、天皇皇后両陛下をお迎えして、第62回全国植樹祭が和歌山県田辺市の新庄総合公園で盛大に開催され、あいにくの雨にも関わらず、県内外から約7,000人が参加されました。

和歌山県は古来より「木の国」と呼ばれ、暮らしの中で森や木が重要な財として扱われてきました。

両陛下にはウバメガシ、ヤマザクラ、ヒノキなどの樹種のお手植え、お手播きをして頂き、今年の開催テーマである「緑の神話 今そして未来へ 紀州木の国から」を全国へ発信されました。

近畿中国森林管理局と和歌山森林管理署では、会場内にパネル展示ブースを設け、国際森林年や民有林と国有林が連携した森林共同施業団地の設定など当局における主な取組をPRしました。



式典会場の様子

国際森林年ロゴマークの缶バッジをもらう高校生

当日は、一日中雨が降り続いており、午後からのサービス広場は中止となりましたが、多くの人たちがブースを訪れました。

特に、近畿中国森林管理局オリジナルの国際森林年ロゴマークの缶バッジが訪れた子どもたちに大人気でした。

この全国植樹祭を通じて、地球温暖化等の問題、適正な森林の管理や環境保全の重要性が参加された皆様方へ再認識されました。

ダイヤモンドトレールサミット in 金剛山を開催（国際森林年）

【近畿中国森林管理局】 国際森林年である今年、大阪府、奈良県、和歌山県の府県境を走る自然歩道ダイヤモンドトレール（約45km）により多くの人を呼び込み地域の活性化を図ろうと、5月14日、大阪府千早赤阪村の大阪府民の森ちはや園地で「ダイヤモンドトレールサミット」が開催されました。快晴の空の下、ダイヤモンドトレール沿いの10市町村長と橋下大阪府知事が集まり、登山客などが見守る中、府県を超えた連

携を進めていくという趣旨の共同宣言が行われました。

サミットには近畿中国森林管理局も協賛し記念植樹用ヤマザクラ苗木などの準備をしました。

また、林野庁からは沼田正俊次長が来賓として出席



国際森林年記念プレートを取り付けた沼田・林野庁次長（左）と橋下・大阪府知事（右）

し、自然歩道を活用して地域の活性化を図る「ダイヤモンドトレールサミット」は、「森を歩く」をテーマとする国際森林年の地域全体の記念事業として大きな意義があると挨拶がありました。

その後、市町村長による

記念植樹が行われました。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

タケノコ掘って熊野古道を整備



【和歌山森林管理署】4月16日、和歌山県新宮市の御手洗国有林内にある世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の一つ熊野古道「高野坂」で、古道整備を目的にタケノコ掘りと孟宗竹の伐採作業を行い、一般から募ったボランティア24名と環境省1名、OB2名、当職員8名が汗を流しました。

御手洗国有林の一部に孟宗竹が0.5ヘクタールにわたり過度に侵入し、古道本来の景観を損なう原因となっているため、平成17年度からボランティアの協力により古道整備を行っているもので、今回で7回目となります。

参加したボランティアは、新宮市内をはじめ三重県紀宝町など4市町から参加、初めての者は半分いるなど古道整備への理解も年々増している感があります。

署長の開催挨拶、当職員による作業手順の説明と安全指導の後、4班に分かれて約2時間の作業となりました。

↑



世界文化遺産「熊野古道」周辺の竹林を整備するボランティアの方々



親子でタケノコを掘っている様子



竹林の本数調整のため、山の恵みを少しだけいただくタケノコの収穫では、参加者同士が掘り方や鍬の使い方をアドバイスし合うなど楽しそうに作業に当たり、約100本のタケノコを収穫しました。その後は生長した竹約50本の伐採作業を行い、林内は明るく、古道周辺もすっきりとした景観となりました。

新宮市内から初めて参加した最年少の女の子（5歳）は、母親に手伝ってもらいながら大きなタケノコを収穫し、掘ったタケノコを手に「うれしい!」と喜んでいました。

また、この様子は新聞社、地元ケーブルテレビで取り上げられ、世界文化遺産の保全と国有林の関わりについて大きなPRとなりました。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/wakayama/>

夜叉ヶ池パトロール員の会へ 林野庁長官感謝状を贈呈

【福井森林管理署】夜叉ヶ池パトロール員の会（川崎正俊会長）は、平成15年の発足以来、毎年、登山者へゴミ捨て禁止のマナーを呼び掛けるなどの活動をしてきました。これまでの活動が、ヤシャゲンゴロウの生息環境の改善や国有林の保護に寄与したことが認められ、このほど林野庁長官から感謝状が贈呈されました。

贈呈式は、5月10日に南越前町今庄総合事務所で実施され、山本福井森林管理署長から川崎会長へ感謝状が手渡されました。

川崎会長は、「これからも保護活動への理解を広げていきたい」と今後の抱負を述べられました。



署長（左から2人目）と夜叉ヶ池パトロール員の会の方々との記念撮影



ヤシャゲンゴロウが生息する夜叉ヶ池（岩谷国有林：福井県南越前町）

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hukui/>

地元のボランティア団体と クリーン作戦を展開

【広島北部森林管理署】当署と地元のボランティア団体びほく森のサポーターズ（代表 田丸 猛）は、5月25

日、広島県三次市下志和地町の国有林内でクリーン作戦を実施しました。人目が届きにくい林道沿いの国有林内に投棄された空き缶やドラム缶、トタンなど 軽トラック 1 台分 (約 70kg) を回収しました。

回収したゴミは、全て三次市役所の協力により「三次環境クリーンセンター」に持ち込み処理されました。



軽トラック満載の粗大ゴミ

不法投棄されたゴミを拾う参加者

ボランティア団体の代表は、「自然豊かな国有林に心ない人がゴミを捨てることに驚いている。今後も森林管理署と連絡を密にして、美しい自然を守っていききたい」とコメントがありました。

このようにボランティア団体と連携した取組は、同署が平成 17～18 年度に実施した森林ボランティアリーダー養成スクールを修了したボランティア団体の会員が中心となり、同署の各種イベントをサポートするもので、今後、益々の活躍が期待されます。

関連ホームページ
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hirosimahokubu/>

第26回那岐登山ふれあい大会の開催

【岡山森林管理署】4月29日、岡山県と鳥取県の境に位置する那岐山国有林にて、奈義町・智頭町観光協会主催の「那岐登山ふれあい大会」が開催されました。

この大会は、岡山県側と鳥取県側から同時に登り、山頂で登山者のみなさんに交流を深めてもらおうというイベントです。今年は、両県合わせて約 1000 人の登山者が、道沿いに咲く花や新緑をめでながら山頂を目指しました。

岡山森林管理署からは、4名の職員が参加し、岡山県側の登山道途中にある「みどりの広場」にて、森林教室を行いました。

那岐山は、美味しい水や空気・癒しの空間を提供するだけでなく、重要な歴史的木造建築物の屋根（檜皮



途中の休憩場所で登山者を前に森林教室を行う職員

登山者全員による記念撮影

葺）の材料となる檜皮の採取地としても貢献していること。檜皮は、^{もとかわし}原皮師と呼ばれる人が、ぶり縄という縄で木に登りながら、ヒノキの皮を剥いて採取することなどを説明すると、登山者の方々から驚きの声があがりました。

登山者の方々の反応は上々で、気付いた時には終了予定時刻を過ぎ、持参した説明用の資料も無くなっていました。

嬉しい悲鳴をあげながら、森林教室後は登山者のみなさんと山頂を目指して登山。「さっきは、ありがとう。」「初めて知ることが多かったわ。」などという声が聞かれ、森林教室や登山を通して、登山者のみなさんが那岐山や森林について興味を持ってくださったことを実感しました。

標高 1,255 m の山頂は、青空と 360 度のパノラマが広がっており、清々しい登山日和の一日となりました。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/okayama/>

お知らせ



第1回 神峰山の森と本山寺山国有林の植物観察会

日程：平成 23 年 7 月 31 日（日曜日）

実施場所：大阪府高槻市（神峰山の森自然園内、本山寺山国有林ほか）

集合：高槻市バス神峰山寺口バス停 9 時

解散：神峰山の森自然園（一般コース 15 時 / ジュニアと初心者コース 13 時）

行程：一般コース及びジュニアと初心者コース

参加費：大人 500 円 / 小・中学生 300 円（保険料込）

集定員：一般コース 30 名 / ジュニアと初心者コース 20 名

募集期間：6 月 20 日から 7 月 25 日（各コース先着順。

定員になり次第受付終了）

詳細につきましては、下記アドレスよりご覧下さい。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/fureai.html>



森林のギャラリー（局庁舎1階）

【6 月の展示スケジュール】

6/13～6/17「富士山の世界文化遺産の登録に向けて」

【静岡県 大阪事務所】

6/20～7/1「乳製品のヒミツ大公開」パネル・パンフ等

【近畿農政局 消費生活課】